

柏葉脳神経外科病院広報誌

特定医療法人  
柏葉脳神経外科病院

札幌市豊平区月寒東1条15丁目7-20  
TEL.011-851-2333

# かしわば

vol.41  
2015.1



近隣の病院や診療所との医療連携をより強化し

## 地域に根差した医療の

## 確立を目指します

柏葉脳神経外科病院 理事長・院長

金子 貞男

# 近隣の病院や診療所との医療連携をより強化し 地域に根差した医療の 確立を目指します

柏葉脳神経外科病院  
理事長・院長 **金子 貞男**

## 地域医療機関との連携を さらに緊密にするために

地域の皆様には健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また日頃から、柏葉脳神経外科病院へご要望やご意見などをお寄せいただき、厚く感謝を申し上げます。

地域医療における当院の大きな役割には、脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）への迅速で的確な治療があります。画像診断技術の進歩と新薬の開発によって、良い治療結果が期待できるようになりましたが、脳梗塞に最も効果的なt-PA（血栓溶解剤）療法は発症4.5時間以内に、詰まった血栓をカテーテルで除去する血管内治療は8

時間以内となることから一刻も早い受診がその後の経過を左右します。時間的な制約を乗り越えるためには、地域の医療機関との緊密でスムーズな連携が必要です。本年は地域連携室に専任のスタッフを配置し、地域医療機関などからのお問合わせや相談、画像診断に関する依頼に迅速に対応する体制を整備いたします。

また、超高齢社会に突入した日本で増加し続けている認知症の患者さんに対しても、専門病院としての役割をしっかりと果たさなくてはなりません。地域の医療機関で「認知症の疑いがある患者さん」を診療する場合には、当院が保有するさまざまな高度検査機器を駆使し、精密検査や確定診断をサポートしたいと思っています。症状だけでは分かりにくい早期の認知症も血流の状態を調べるSPECT検査に



放射線科 統括科長  
**佐々木 直親**

## 世界初の新技术を搭載したMRI .....

### 撮像時の騒音がない MRI 検査が可能に

当院では3台目のMRIとして、音がしない検査を実現する世界初の新技术「SILENT SCAN」を搭載した「Discovery MR750w 3.0T」を2014年12月に導入しました。

MRIは脳卒中や脳腫瘍などの診断に使われる画像診断装置です。従来のMRIは撮像時の騒音がとても大きく、「工事現場の削岩機やドリルのよう」と表現されていましたが、ほとんど気に

ならないほど静かになり、患者さんの安心感につながっています。

### 診断や術後の確認に威力を 発揮する高画質撮影

頭の中の構造はコンピュータによって断層写真になりますが、検査の条件を変えることでいろいろな画像が抽出できます。画像のコントラストが高いため、小さな動脈瘤や脳梗塞の発見だけでなく、詳細な位置関係も分かりま



よって確定診断の補助になります。さらに、専属の臨床心理士による心理検査も行っています。また、長引く腰痛や手足のしびれといった高齢者に多い脊髄疾患の専門治療にも力を入れています。診断に苦慮されているケースがありましたら、気軽にご相談ください。

私たちが目指すのは「地域に深く根差した医療の確立」です。それは「安全で安心いただける医療サービスに徹し、患者さんの幸せを守ります」という病院の理念を愚直なまでに実行することであると改めて気を引き締めています。

北海道が推進している「脳卒中医療連携手帳」は地域の医療機関が連携し、脳卒中の患者さんが必要な治療を切れ目なく継続できるツールですが、当院でも今年は積極的に参加したいと思っています。QOL（生活の質）を考慮した治療を提供し、脳卒中の患者さんが地域で安心して暮らせるように支えたいと思っています。

## リハビリテーションの 新時代へ向けて

これまでの脳神経外科治療は「救命」「残された機能の向上」を目的にしてき

ましたが、これからは「失われた機能の再建」を目指す新たなスキルの習得も必要です。

質の高いリハビリテーションを継続的に提供するために、ロボットスーツHALを活用しながら、脳・神経系と筋骨格系の両方を捉えるミューロソリューションシステムへと進化させる取り組みに力を注いでいます。症例実績から見える効果を検証・解明することは、リハビリテーションの新時代を創り出すことにもなります。近々論文にまとめ、全国へ発信する予定です。

さらに当院は「あつてはならない投薬ミス」を防ぐための独自の医療安全システムを有し、注射だけでなく一包一包的の服薬を管理し、全国的に高い評価を得るまでになっています。また、認定看護師の育成を推進し、看護の質のさらなる向上を目指します。

本年も昨年同様、職員一丸となって「患者さんの幸せを守る医療」の実践に努力する所存です。引き続きご理解・ご支援を賜りますようお願いを申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。



## Discovery MR750w 3.0Tで撮影したMRI画像

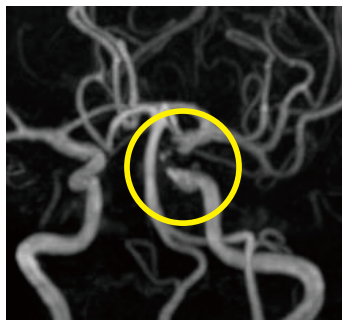
す。血流が再開したかどうかの術後の確認や精密検査にも有用です。

一度の検査で高精細な画像が得られることから、脳の病気の早期診断に威力を発揮しています。



GEヘルスケア・ジャパン社  
「Discovery MR750w 3.0T」

従来の撮影法



SILENT SCAN



従来の撮影法では丸で囲んだ部分の血管が、血管クリップの影響で消えてしまっていますが、SILENT SCANではアーチファクトが減少し、血管をはっきりと確認することができます

**病院の理念** 私たちは、安全で安心いただける医療のサービスに徹し、患者さんの幸せを守ります

**病院の基本方針**

- 患者さんにとって、思いやりのある最善の医療に全力をつくします
- 医師とスタッフによる説明と、患者さんの理解と選択に基づく医療を実践します
- 患者さんの意志とプライバシーを尊重します
- 医療従事者として、常に、豊かな人間性と技術の向上をめざします
- 救命・救急医療から心と体のリハビリテーションまで、高度な脳の専門病院をめざします
- 地域医療機関との強力な連携をはかり、よりダイナミックな医療のサービスを提供します

**患者さんの権利**

- 患者さんは、平等で、安全な医療を受ける権利があります
- 自分の診療にかかわる人々の氏名と役割を知る権利があります
- 自分の病気・治療・予後について知る権利があります
- 治療について承諾・拒否する権利があります
- 自分の診療について、他医師の意見（セカンドオピニオン）を得る権利があります
- 自分のプライバシーを守る権利があります
- 公的援助、地域サービスに関する情報を知る権利があります
- 病院職員に対して、意見・苦情を伝える権利があります

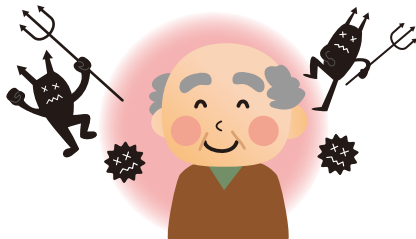
からだ★ミニコラム

冷えは万病のもと  
あなたの平熱は  
何度ですか？

生活習慣の変化によって日本人の低体温化が進んでいるといわれています。「手足が冷たい」「肩がこる」「腰が冷える」など、冷えの感じ方は人によってさまざまですが、体が冷えると新陳代謝が悪くなり免疫力が低下することが分かっています。

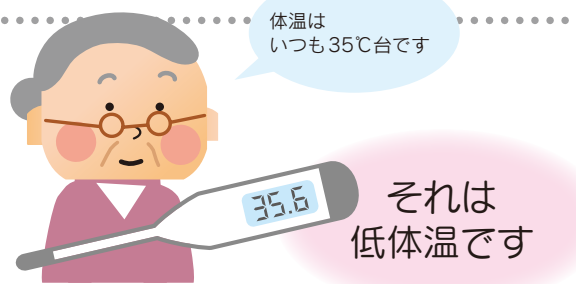
体温を上げると免疫力もアップ

低体温の人の体温が36℃台になると、免疫力が上がり、風邪や気管支炎、インフルエンザなどの感染症だけでなく、病気の予防や改善につながります。



日本人の体温が低下した要因

- 筋肉を使った運動や労働の不足
- 体を温める作用のある塩分の極端な制限
- 体を冷やす作用がある水分の摂り過ぎ
- 体を冷やす食べ物である生野菜や果物などの摂り過ぎ
- 浴槽につからずにシャワーで済ませる入浴習慣



体温を上げる工夫

冷えを感じたら、その部分を湯たんぽやカイロなどで温めましょう。足が冷えたなら足を、腰が冷えたなら腰を温めます。普段から、首や手首、足首、お腹が冷えないような衣類を選びましょう。全身を温めたいときは、ストレッチやスクワット、ウォーキングなどの筋肉運動が効果的です。

また、冷たい飲み物は避け、朝は「温かい白湯」を飲む習慣を。体を温める効果がある赤みの肉、卵、チーズ、根菜、生姜などの食材を意識的に摂るようにしましょう。



2015年がスタートして早やひと月が経ちました。インフルエンザやノロウイルス感染の話が多く聞かれるようになってきましたが、皆さんいかがお過ごしでしょうか。栄養と休養を十分取り、適度な温度・湿度を保つ、外出後には手洗とうがいをかかさな。ありきたりのことですが、大切なことです。春までもうひと踏ん張り、厳しい冬を乗り越えましょう。(小川)